

授業科目名 在宅看護方法論Ⅱ

第一看護学科
3年次 前期
1単位（15時間）

I. 授業の目的・目標（ねらい）

- 目的 1) 在宅看護の概要、安全と健康危機管理について理解する。
2) 在宅看護における看護職の役割を理解する。
- 目標 1) 訪問看護サービスのしくみと提供の基本について理解できる。
2) 在宅におけるケース/ケアマネジメントについて理解できる。
3) 日常生活における安全管理について理解できる。
4) 災害時における在宅療養者と家族の健康危機管理について理解できる。

II. 授業計画

回	授業内容	講義・演習	備考
1	訪問看護が開始されるまで	講義・演習	
2	初回訪問		
3	面接技術		
4	ケアマネジメント		
5	事故対応		
6	感染予防		
7	安全対策		
8	災害時の看護		

III. 使用テキスト参考書

ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア メディカ出版
ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術 メディカ出版
根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術第2版 医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験

授業科目名 在宅看護方法論Ⅲ

第一看護学科

3年次 前期

1単位（30時間）

I. 授業の目的・目標（ねらい）

- 目的
- 1) 在宅看護の対象と対象の健康の課題について理解する。
 - 2) 在宅看護の対象者と家族の抱える介護上の問題について理解する。
 - 3) 地域包括ケアシステムにおける在宅看護の位置付けを理解する。
 - 4) 在宅看護における看護の意義と役割を認識する。
- 目標
- 1) 在宅における看護展開の方法について理解できる。
 - (1) 情報収集の目的・内容が理解できる。
 - (2) 在宅療養者の問題点が理解でき、長期・短期の目標を明確にできる。
 - (3) 家族の持つ療養上の強みを知り、具体策が考えられる。
 - 2) 訪問看護の役割と実際について理解できる。
 - 3) 医療支援センターの役割・機能と看護の実際について理解できる。
 - 4) 褥瘡の予防ケア及び看護の実際について理解できる。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備考
1	看護過程の展開（事例演習）：情報の読み取り①	演習	
2	看護過程の展開（事例演習）：情報の読み取り②		
3	看護過程の展開（事例演習）：情報の読み取り③		
4	看護過程の展開（事例演習）：アセスメント①		
5	看護過程の展開（事例演習）：アセスメント②		
6	看護過程の展開（事例演習）：アセスメント③		
7	看護過程の展開（事例演習）：看護上の問題点		
8	看護過程の展開（事例演習）：看護目標・看護計画		
9	看護過程の展開（事例演習）：看護の実際 1		
10	看護過程の展開（事例演習）：看護の実際 2		
11	看護過程の展開（事例演習）：看護の実際 3		
12	看護過程の展開（事例演習）：看護の実際 4		
13	訪問看護ステーションの実際		
14	地域医療連携の実際		
15	褥瘡ケアの実際		

III. 使用テキスト参考書

ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論①地域療養を支えるケア メディカ出版
 ナーシング・グラフィカ 地域・在宅看護論②在宅療養を支える技術 メディカ出版
 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術第2版 医学書院

IV. 成績評価の方法

看護過程の記録物、演習の出席状況、レポート

授業科目名 統合看護総論：看護管理

第一看護学科
3年次 前期
1単位（30時間）

I. 授業の目的・目標（ねらい）

目的 看護管理・国際看護が理解できる。

- 目標
- 1) チーム医療での他職種との協働の中で、看護師としてのメンバーシップおよびリーダーシップについて理解する。
 - 2) 看護をマネジメントできる基礎的能力を養う。
 - 3) 感染管理の基礎的知識を学ぶ。
 - 4) 国際社会の現状を知り、看護師としての役割を考える。

II. 授業計画

回	授 業 内 容	講義・演習	備 考
1	看護管理の基本となるもの 看護管理	講義	
2	看護の基本となるもの 専門職とは		
3	看護師の仕事とその管理 情報の管理		
4	看護師の仕事とその管理 労働管理		
5	看護師の仕事とその管理 看護システム		
6	看護の質向上		
7	看護と経営		
8	看護管理に求められる能力		
9	看護職とキャリア		
10	まとめ		
11	臨床指導者とのグループワーク	演習	
12	感染管理	講義	
13	国際看護 看護における国際化の視点	講義・演習	
14	国際看護 国際社会における看護の対象 多様な文化と看護		
15	国際看護 国際協力活動と看護		

III. 使用テキスト・参考文献

ナーシング・グラフィカ 基礎看護学① 看護学概論 メディカ出版
 ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践① 看護管理 メディカ出版
 系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践〔3〕 災害看護学・国際看護学 医学書院

IV. 成績評価の方法

筆記試験、出席状況、参加状況、レポート

授業科目名 統合看護方法論 I

第一看護学科
3年次 前期
1単位 (30時間)

I. 授業の目的・目標 (ねらい)

目的 看護研究が理解でき、ケーススタディで看護を深めることができる。

- 目標
- 1) 看護研究の意義や必要性について理解できる。
 - 2) 看護研究の種類やその実際/倫理的配慮について理解できる。
 - 3) 文献検索の方法を知り、必要な文献を探すことができる。
 - 4) ケーススタディの実施方法を理解し、個人で計画的に取り組むことができる。

II. 授業計画

回	授業内容	講義・演習	備考
1	研究とは 看護研究とは	講義・演習	
2	研究の種類とそのプロセス		
3	文献検索 文献の読み方		
4	文献検索の実際		
5	ケーススタディとは		
6	研究計画書		
7	ケーススタディのオリエンテーション		
8	看護研究の実際(ケーススタディの指導日①)		
9	看護研究の実際(ケーススタディの指導日②)		
10	看護研究の実際(ケーススタディの指導日③)		
11	ケーススタディ発表①		
12	ケーススタディ発表②		
13	ケーススタディ発表③		
14	ケーススタディ発表④		
15	県下看護学校研究発表会参加		

III. 使用テキスト・参考文献

講師資料

IV. 成績評価の方法

参加状況、提出物

授業科目名 統合看護方法論Ⅱ	第一看護学科 3年次 前期 1単位（30時間）
----------------	-------------------------------

I. 授業の目的・目標（ねらい）

目的	複数患者を受け持ち、安全な看護を提供するために、知識・技術を統合し、看護を展開する方法について理解できる。
目標	1) 必要な情報を収集することにより、患者の現在の状態に応じた看護を考えられる視点を身につけ、看護業務遂行のためのタイムマネジメントができる。 2) 複数患者を受け持ち、同時多重課題への対処が考えられ、行動できる。 3) 医療チームの一員としてのマネジメントが理解できる。 4) 演習を通して自己学修へ向かうことができる。

II. 授業計画

回	授業内容	講義・演習	備考
1	ガイダンス	講義・演習	
2	複数患者の情報収集とタイムマネジメント		
3	演習①（複数患者を受け持つ看護場面）： オリエンテーション		
4	演習①：ミニカンファレンス		
5	演習①：検温、SBAR		
6	演習①：まとめ		
7	演習②（多重課題）：オリエンテーション		
8	演習②：演習（その1）		
9	演習②：演習（その2）		
10	演習②：まとめ		
11	統合看護実習に向けて 実習記録の書き方		
12	演習③（臨床場面を取り上げた演習）： オリエンテーション		
13	演習③：演習（その1）		
14	演習③：演習（その2）		
15	演習③：まとめ		

III. 使用テキスト・参考文献

ナーシング・グラフィカ 基礎看護学 ①看護学概論 メディカ出版 川村治子著 医療安全ワークブック 医学書院
--

IV. 成績評価の方法

出席状況、参加状況、提出物
